

取扱説明書

ガス給湯器

GS-A2000E-1B

(フィルター検知スイッチ追加品)

平成 27 年 7 月 1 日以降製造品

こちらをご覧ください

ガス給湯器

取扱説明書 保証書付

特定保守製品

品 名	型 式 名	号 数
GS-A2000E-1B GS-A2000E-1B(BL)	GS-A2000E	20号
GS-A2000F-1	GS-A2000F	
GS-A1600E-1B GS-A1600F-1	GS-A1600E GS-A1600F	16号

このたびはガス給湯器をお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』で指定された
特定保守製品です。(→P.14)

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読み
いただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところ
へ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、
または弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月
をお知らせください。

もくじ	ページ
安全に正しくお使いいただくために・・・	1
この取扱説明書の表示について	1
必ずお守りください	1
各部の名称とはたらき	5
ご利用前の準備	6
機器の準備	6
お湯を使うには	7
お湯を使用する	7
浴槽にお湯張りをするには	9
お湯張り機能を使ってお湯張りする	9
お湯張り温度・お湯張り量の設定	10
浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)・	11
呼び出し機能を利用する	11
音量を変更するには	11
音量の設定	11
冬期の凍結予防をするには	12
再使用するとき	13
凍結してしまったとき	13
長期使用製品安全点検制度	14
長期使用製品安全点検制度について ..	14
法定点検(有料)について	14
所有者登録について	14
この製品の設計標準使用期間について ..	15
法定点検の連絡先について	15
部品の保有期間について	15
定期点検について(有料)	15
点検のポイント・お手入れのしかた ..	16
点検のポイント(月1回程度)	16
お手入れのしかた(月1回程度)	16
点検・お手入れ後の確認	17
故障かな?と思ったら	18
リモコンにアラーム番号が出たとき ..	20
アフターサービスについて	21
仕様一覧	22
保証書	23

ご利用の前に

使い方

長くお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P. XX)	参照ページを示しています。

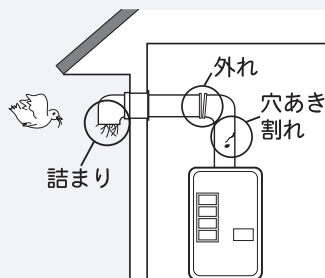
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

(給)排気筒(トップ)の定期点検

- (給)排気筒(トップを含む)が外れたり、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



禁止

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ④お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。



必ず行う

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。



火気禁止

警告

屋外に設置しない

- 雨水の浸入などで、故障の原因になります。



禁止

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで(給)排気筒トップを覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

増改築などで(給)排気筒トップを屋内状態にしない

- 設置後、(給)排気筒トップを波板やビニールシートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置、移動、取外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを必ず接続せよ

必ずお守りください

警告

機器本体やガスの接続部などに乗らない
●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などで塞がない。不完全燃焼の原因となります。
- 機器を使用の際は、台所や脱衣室などの換気扇を使用しない。一酸化炭素中毒の原因となります。



禁止

お子さまには十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり、浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



禁止

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの思わぬ事故や故障、火災の原因となります。



分解禁止

給気口・(給)排気筒トップの前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

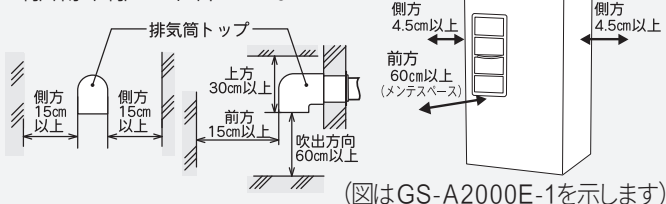
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



(図はGS-A2000E-1を示します)

- 機器および(給)排気筒(トップを含む)の周辺には、紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器および(給)排気筒(トップを含む)の周辺では、灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器および(給)排気筒(トップを含む)の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



禁止



禁止

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 機器の使用時または使用後しばらくは、(給)排気筒(トップを含む)付近に触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグに触らない。感電のおそれがあります。



ぬれ手禁止

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。



必ず行う

- 転居時の注意は(→P.21)

(例：都市ガス12A・13Aの場合)
この部分を必ずご確認ください。



(図はGS-A2000Eを示します)

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
 - ・お湯を再使用するとき ・給水圧が下がったとき
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき ・機器が故障したとき
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。



必ず行う



禁止

思わぬ事故や、やけどのおそれがあります

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
 - ①給湯栓を閉じる。
 - ②リモコンの運転を「切」にする。
 - ③ガス栓・給水元栓を閉じる。
- 給湯栓を開けても点火しない場合、使用中で火が消える場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
 - ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
 - ②故障かな?と思ったら(→P.18～20)に従って処置をする。



必ず行う



必ず行う

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。

必ずお守りください

警告

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客さまの責任となります。



禁止

ソーラー接続禁止

- この機器をソーラーシステムに接続しない。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどするおそれがあります。



禁止

(給)排気筒トップに指や棒を入れない

- (給)排気筒トップに指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。



必ず行う

配管カバーについての注意

- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。(→P.17)



必ず行う

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。



必ず行う

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。本体操作部には水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- 本体操作部およびリモコンはお子さまがいたずらしないよう、注意してください。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、本体操作部の**運転**スイッチを切ってください。
- 断水が復帰した後、使い始めお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

通水使用の禁止

- 運転**スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のために水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の安全装置(電流ヒューズ・漏電スイッチ等)が作動していることが考えられます。GS-A2000E-1B(BL)の場合は、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないとき、もしくは他の製品の場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

必ずお守りください

お願い

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、冬期の凍結予防をするには(→P.12)に従って処置してください。急ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したときは■凍結してしまったとき(→P.13)に従って処置してください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定(給湯温度・湯量など)を行い、表示を確認したあとご使用ください。

特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。
- シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃烧音、燃烧ファンの音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 壁などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃烧不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃烧の原因となります。
- 24時間換気システムのと看、室内の給気口・排気口を塞がないでください。機器の凍結の原因となります。

積雪時の閉塞について

- 積雪時は(給)排気筒トップの点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により(給)排気筒トップが塞がれないように注意してください。異常着火・燃烧不良の原因となります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.16)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客さまご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万ー着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃烧していることを本体操作部または、リモコンの燃烧ランプで確認してください。

スプレー使用注意

- 機器近くでシリコン系スプレーを使用しないでください。故障の原因になります。

長期間使用しないときは

- 機器の水を抜く方法(→P.12)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

地下水や井戸水の注意および温泉水使用不可

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいる為、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。
- ※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。
- 温泉水は使用しないでください。

排気ガス

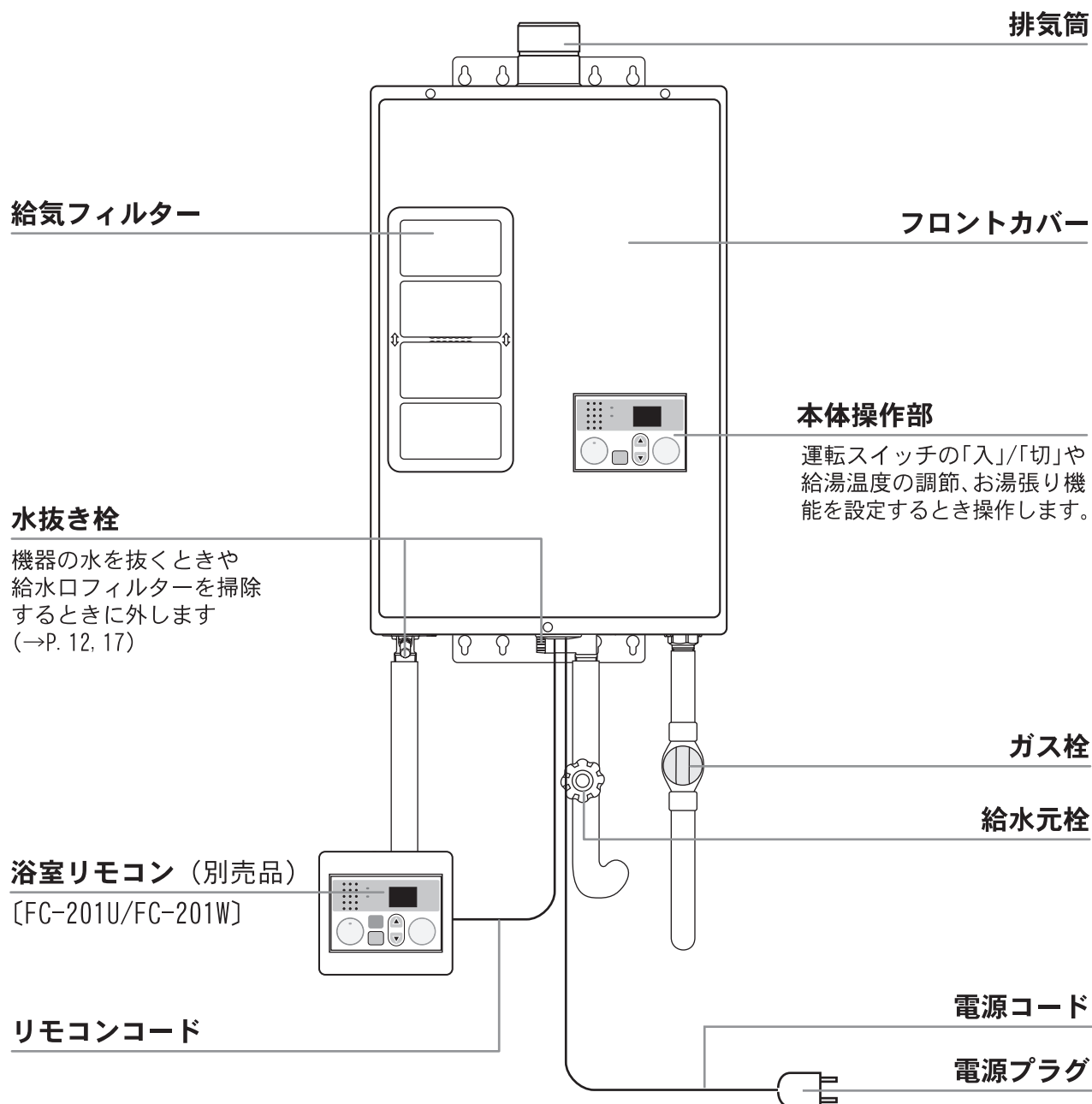
- 増改築時には、燃烧排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食するおそれがあります。
- (給)排気筒トップの周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃烧ファンの性能を低下させ、不完全燃烧の原因となります。

各部の名称とはたらき

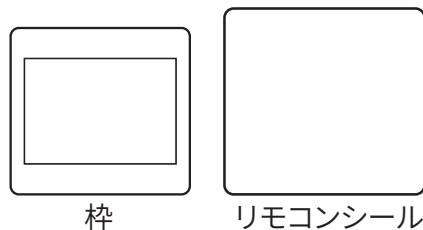
■機器本体(図はGS-A2000E-1Bを示します)



■本体操作部について

本体操作部は取り外すことが可能です。
別売品のリモコン取付部材 (PB-42) と組み立てて、
台所リモコン (MC-201) として使用できます。
リモコン取付部材 (PB-42) には、枠・リモコンシール・
移設用リモコン接続リード線・ビス類一式が含まれます。

※リモコンコードは別売品となります。



各部の名称とはたらき

■本体操作部

優先ランプ（緑）

優先ランプが点灯しているときは給湯温度の調節が可能です。

燃焼ランプ（赤）

給湯燃焼中に点灯します。

お湯張りランプ（緑）

お湯張りスイッチが「入」のとき点灯します。
設定した湯量まで達すると点滅し、お湯張りスイッチを「切」にすると消灯します。（→P. 9）

お湯張りスイッチ

スイッチが「入」のとき、設定した湯量までお湯はりすると、出湯が停止して音声でお知らせします。その後給湯栓を閉じてください。（→P. 9）

設定スイッチ

お湯張り温度・お湯張り量・音量を設定するときに押します。（→P. 10～11）

表示画面

通常は給湯温度を表示しています。また設定変更時には、お湯張り温度・お湯張り量・音量を表示します。

お湯張り温度変更表示

お湯張り温度を変更するときに点灯します。

お湯張り量変更表示

お湯張り量を変更するときに点灯します。

音量変更表示

音量を変更するときに点灯します。

運転スイッチ

操作するときに最初に押して「入」にします。給湯温度を表示します。（→P. 7）

給湯温度設定スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を調節するときに使用します。

■浴室リモコン [FC-201U/FC-201W] (別売品)

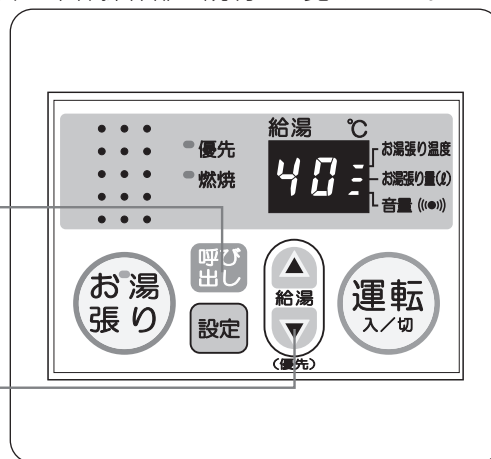
※説明は本体操作部との違いのみ説明します。それ以外は本体操作部の説明をご覧ください。

呼び出しスイッチ

スイッチを押すと、本体操作部でチャイムと音声流れてお知らせします。（→P. 11）

給湯温度設定スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を調節するときに使用します。
給湯温度を調節するときに優先切替ができます。



ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

■機器の準備

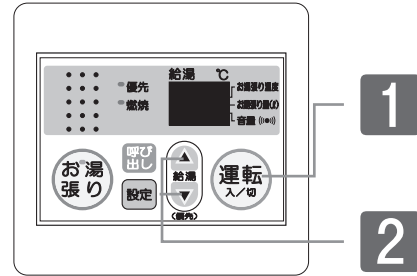
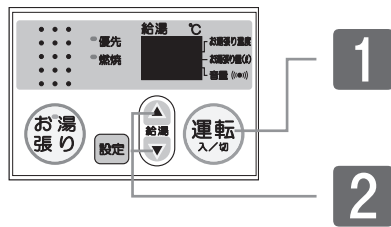
- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行う（→P.16）
- 2 給水元栓を全開にする
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開ける
水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にする
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
機器周辺にあります。

お湯を使うには

お風呂のシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。

お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先ランプが点灯しているリモコンで操作できます。



警告

- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に優先を切替えない。本体操作部で給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

1

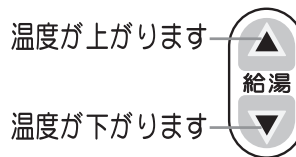
「運転」を押して「入」にする



給湯温度を表示します。

2

給湯温度を変更する場合は
▲または▼を押す



給湯温度の目安は(→P.7)
温度の変更ができない場合は
優先ランプの点灯を確認します。
(→P.8)

お湯を出す

給湯栓を開ける



各リモコンで燃焼ランプが点灯します。

お湯を止める

給湯栓を閉じる



燃焼ランプが消灯します。
※ただし、他の給湯栓が使用中のときは消灯しません。

給湯温度の目安

給湯温度の目安(℃)

40 : 工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75
食器洗いなど	シャワー・給湯など			給湯など			高温								

やけど防止のため、給湯温度を60℃より70℃に設定するときは▲を長押し(2秒以上)しないと温度が上がリません。
他の場所でお湯が使われていないことを確認のうえ、温度を上げてください。

※50℃以上に設定した場合にはチャイムが鳴り、
音声で2回流れます。



熱い温度にセットされました
注意してください

お湯を使うには

お知らせ

- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、再度給湯栓を開けてお使いください。
- 夏場など水温が高い場合、低温に設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。
- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。

お願い

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なくと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使っているときは、やけど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようとするとき“ピピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、一旦出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度**運転**スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

☐ 給湯温度が変更できないときは

給湯温度を調節するには、リモコンに優先ランプの点灯が必要です

1つの機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。

このような事故などを防ぐために、優先ランプが点灯しているリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。優先ランプは**運転**スイッチを「入」にしたリモコンに表示します。

2 の操作で給湯温度の変更ができない場合は、優先ランプが点灯しているか確認してください。優先ランプが点灯していない場合は、以下の方法で優先ランプを点灯させてください。

	給湯温度を調節できない場合 ▶	優先切替を行う(調整可能) ▶	給湯温度を調節できる状態
浴室リモコン	優先ランプが消灯している 	押す 	優先ランプが点灯している 
本体操作部	優先ランプが消灯している 	押して一度運転「切」にし、再度「入」にする 	優先ランプが点灯している 

※設定温度は例です。



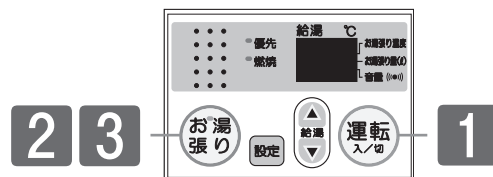
- 優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃以上だった場合、自動的に55℃にセットし直されます。

浴槽にお湯張りをするには

■お湯張り機能を使ってお湯張りする

□お湯張り機能について

設定した湯量になると、お湯を自動的に停止し、本体操作部・浴室リモコンからチャイムと音声ガイドでお知らせします。



⚠ 注意

●入浴の際には念のためよくかきまぜ、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

1 運転入/切を「入」にし、お湯張りを押す



お湯張りを始めます
おふろの栓をしてから、蛇口
を開けてください

お湯張り温度を表示し、お湯張りランプが点灯します。

2 おふろの栓をして、給湯栓を開ける



燃焼ランプが点灯します。

設定したお湯張り量に達すると、自動的にお湯が止まります

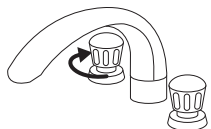
※音声ガイドで流れる“蛇口”は、給湯栓のことをいいます。



おふろに入れます
蛇口を閉めてから、お湯張り
スイッチを押してください

燃焼ランプが消灯し、お湯張りランプが点滅します。

3 給湯栓を閉じてからお湯張りを押す



お湯張りランプが消灯し、給湯温度を表示します。

❗お湯張り終了後はお湯張り終了の操作をするまで、他の給湯栓を開けてもお湯はでません。



お湯張り中止 給湯栓を閉じてからお湯張りを押す

停電時は

給湯栓を閉じ、浴槽を空にしてから、お湯張りをやり直してください

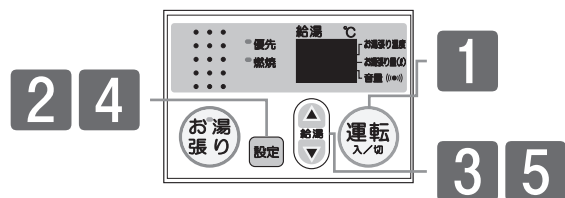
お願い

- お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- お湯張り機能を使ってお湯張り中に、台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドが流れます)
- お湯張り中には優先の切替え、温度の変更ができません。警告音が鳴り、“お湯張りをしています”と音声が出て受け付けません。
- お湯張り終了後は、すぐに給湯栓を閉じ、お湯張りを押してください。お湯張りスイッチを押すまで、他の給湯栓を開けてもお湯は出ません。
- お湯張り終了後に給湯栓を閉じないままお湯張りスイッチを押すと、給湯栓から再びお湯が出ます。(お湯は自動的に止まります)リモコンからチャイムと“蛇口が開いています 蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”の音声ガイドが流れ、“CL”を点滅表示します。“CL”は、お湯張りをしていた給湯栓を閉じてから、お湯張りを押すと解除されます。

浴槽にお湯張りをするには

■お湯張り温度・お湯張り量の設定

お好みで設定することができます。



1 運転を「入」にする



給湯温度を表示します。

2 設定を押す



お湯張り温度変更モード表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。

3 ▲または▼を押して、お湯張り温度を設定する



燃烧ランプが点灯します。
▲・▼は、お湯張り温度が点滅している間に押します。

※続けてお湯張り量を設定するときは、お湯張り温度が点滅している間に4へ進みます。

4 設定を押す



お湯張り量変更モード表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

5 ▲または▼を押して、お湯張り量を設定する



▲・▼は、お湯張り量が点滅している間に押します。
※リモコンは上位2桁を表示します。

しばらくたつと確定します



設定が終了すると給湯温度を表示します。

お湯張り温度の目安(°C) 40 : 工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準								あつい

お湯張り量の目安(°C) 18 : 工場出荷時

リモコン表示	5	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	40	50
湯量(L)	50	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	400	500

お願い

- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定するとあふれる場合があります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してからお好みの湯量に調節することをおすすめします。
- お湯張り温度・湯量は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後再通電したときは、お湯張り温度40°C・湯量180ℓになりますので再度設定してお使いください。

×モ

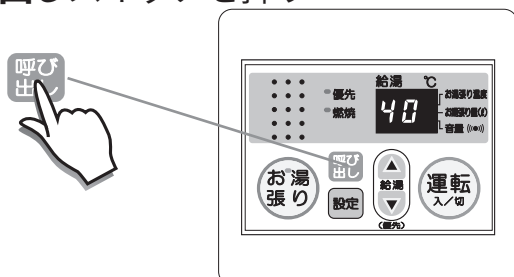
- サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、設定温度を通常使用している温度に下げてください。
- お湯張り終了後に給湯栓を閉じ(※)を押さないままにしておくと、1分間隔で給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。(給湯栓が閉じられたかどうかを機器が確認する動作です)チャイムが鳴り、“蛇口が開いています 蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”と音声ガイドが流れます。そのまま10分以上終了操作が行われないと、リモコンに“CL”が点滅表示されます。給湯栓から水は出なくなり、チャイムや音声ガイドも流れません。

浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)

■呼び出し機能を利用する

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、本体操作部でチャイムを鳴らして知らせます。

呼び出しスイッチを押す



浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。
本体操作部ではチャイムが鳴り、“おふろで呼んでいます”と2回鳴ってお知らせします。



- 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- インターホンの機能は付いていません。

音量を変更するには

■音量の設定

音量はそれぞれのリモコンで、別々に設定できます。

1 を「入」にする



給湯温度を表示します。

2 音量変更表示が点灯するまで を押す



音量が点滅します。

3 または を押してお好みの音量に設定する



 ・  は、音量が点滅している間に押します。

4 しばらくたつと確定します



給湯温度を表示します。

音量の目安

3(大) : 工場出荷時

0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)
-------	------	------	------



- 設定した音量は、**運転**スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで**呼び出し**スイッチが押されたときには、本体操作部の呼び出し音声は「大」で流れます。
- 本体操作部の呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピツ”という音は調節できません。
- 設定**スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けて設定することもできます。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2 または 3

← 外気温が -15°C を下回るとき -15°C より高くても風のある日

処置 3

← 長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

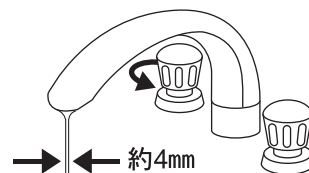
処置 2

給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 **運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉じる**
必ず行います。

- 2 **浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける**
流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。



※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にします。

処置 3

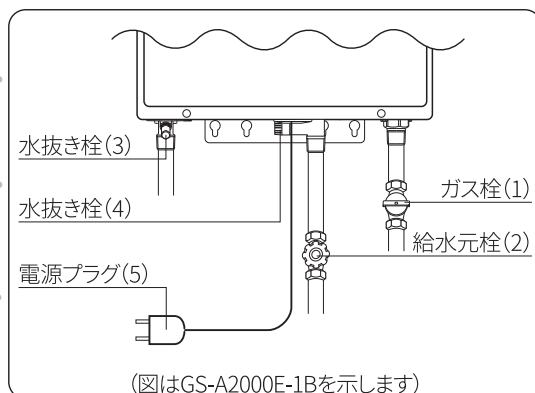
機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

⚠ 注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.17)

- 1 **ガス栓(1)と給水元栓(2)を閉じる**
- 2 **すべての給湯栓を全開にする**
- 3 **水抜き栓(3)(4)を外して水が出ることを確認する**
- 4 **運転スイッチを「切」にする**
10秒以上経過後、電源プラグ(5)を抜く



お願い

- 水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

使い方

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには



注意

●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.17)

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

1

水抜き栓(3)(4)およびすべての給湯栓を閉じる

2

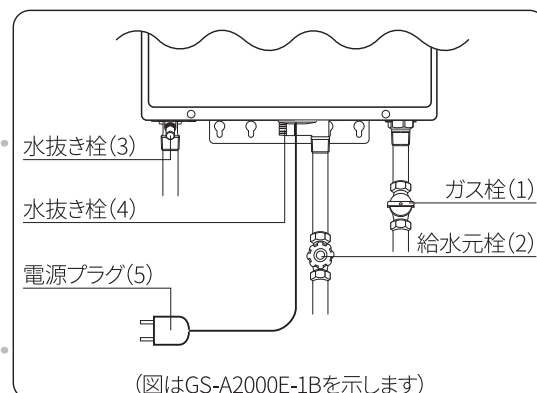
給水元栓(2)を開け、すべての給湯栓も開けて水が出ることを確認する
機器や配管から水漏れがないことを確認し、給湯栓を閉じる

3

ガス栓(1)を開ける

4

電源プラグ(5)をコンセントに差し込む



■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。

解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1

ガス栓および給水元栓を閉じる

※給水元栓を閉じるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2

リモコンの**運転**スイッチを「切」にする

3

ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する
水が出てくれば使用できます

4

ガス栓を開ける

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5

リモコンの**運転**スイッチを「入」にする

お願い

- 再使用するときは、水抜き栓を元のとおり確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

長期使用製品安全点検制度

■長期使用製品安全点検制度について

この製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。

- 特定保守対象製品には「特定保守製品」と記載された定格銘板、または銘板が製品に貼り付けられています。
- 特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)』として指定された製品です。

■法定点検(有料)について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。(消安法第32条の14) この製品に表示してある点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに(年1回程度)点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。

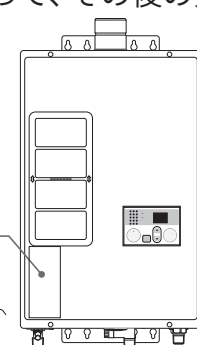
また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

◆この製品の点検期間は右図のように表示しています。

◆この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。

点検期間には忘れずに法定点検(有料)をご依頼ください。

品名	GS-A2000E-1B
特定製造事業者名	特定保守製品
住所	静岡県富士市西柏原新田201番地
製造年月	2009年 4月
設計標準使用期間	10年
点検期間	2018年 4月～2020年 3月
問合せ連絡先	点検受付センター
連絡先部署名	(無 料) 0120-323-884
電話番号	登録コード ○○○○-○○○-○○○-○○○



■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。(消安法第32条の8第1項および第2項)

下記、所有者登録の方法をご覧になり、いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。変更のご登録をしない場合は点検通知が届きません。

所有者登録情報に関するお問い合わせは■法定点検の連絡先について(→P.15)をご覧ください。

なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法 以下のいずれかの方法で登録を行います。

所有者票(返信はがき)で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。



インターネット(パソコン)で登録する

- ホームページ(<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>)へアクセスし、画面の案内に従って登録をお願いします。



モバイル(携帯電話)で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票(返信はがき)またはインターネット(パソコン)での登録をお願いします。



※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしておりません。

法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。(消安法第32条の12) 通知は弊社から、はがきにて送付します。
- 法定点検に関するお問い合わせは、■法定点検の連絡先について(→P.15)をご覧ください。

長期使用製品安全点検制度

■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは

標準的な使用条件（下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照）の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。（消安法第32条の3） 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従って、以下の標準使用条件で耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件			
家族構成	4人世帯	給水温度	15℃
用途	洗面・台所・湯張り・シャワー	出湯温度	40℃
季節	中間期（春、秋）	1日使用量	456ℓ
気温 / 湿度	20℃/65%	使用時間 / 日	1時間
電源電圧 / 周波数	100V（50Hz/60Hz）	使用日数 / 年	365日

！お知らせ

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海拔1,000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

■法定点検の連絡先について

所有者登録情報の変更・法定点検に関するお問い合わせ・法定点検の点検作業のご依頼

点検受付センター お問い合わせ先（無料）：0120-323-884 受付時間/ 年中無休 9:00～17:00

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、パーパス点検受付センターへお問い合わせください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国のサービス店で対応いたします。また、ホームページ (<http://www.purpose.co.jp/>) からもご確認いただけます。

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下のとおりです。

部 品	保 有 期 間	部 品 内 容（部 品 名）
点 検 に 係 わ る 整 備 用 部 品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミット スイッチ・温度ヒューズ・COセンサ・温度検出サーミスタ 給気フィルター（GS-A2000E, A1600Eシリーズにあります）
補 修 用 性 能 部 品	BL 認 定 品：10年 BL認定品以外：7年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

■定期点検について（有料）

機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

また、日常の点検およびお手入れについては「点検のポイント・お手入れのしかた」（→P.16～17）をご覧ください。

点検のポイント・お手入れのしかた



警告

●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

■点検のポイント(月1回程度) 以下のポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？

水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2. 機器および配管からガスの臭いがしませんか？

3. 運転中に機器から異常音がしませんか？

4. 機器の外観に異常は見られませんか？

5. 機器のまわり、および(給)排気筒(トップを含む)のそばに燃えやすいものはありませんか？

また、整然とされていますか？

機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6. (給)排気筒(トップを含む)の損傷や詰まり、外れていることはありませんか？

GS-A2000E, A1600E シリーズをご使用の場合は以下のポイントも点検してください。

7. 給気フィルターに、ごみ・ほこりが詰まっていたり、変形・破損はありませんか？

8. 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？

9. 給気フィルターが物などで塞がれていませんか？



長年ご使用の場合、こんな症状が出ていませんか？

毎日、普通に使用している給湯器も5年、10年と長期間のご使用により、ちり・ほこりや羽虫などが少しずつ内部部品に詰まり、初期性能を発揮できなくなったり、さまざまな不具合を生じることがあります。今お使いの機器を安全にご使用いただくために、状態を確認して次のような症状がみられる場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

①最近、シャワーなどお湯の温度がいつもよりぬるくなったと感じた。

②高温にセットしても、高温のお湯が出ない。

※常に40℃前後でご使用のお客様は、月に1回程度高温にセットして、高温のお湯が出ることを確認してください。

③お湯が熱くなったり、ぬるくなったりする。

④給湯器の給排気筒トップから煙が出ていたり、変なにおいがする。

⑤給湯器の給排気筒トップの周りが黒くなっている。

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンの掃除

●汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。



！お知らせ

●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。

また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。

●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

●本体操作部には水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので、故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

●給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

●給水口フィルターは、元のとおり確実に閉じてください。閉じ方が不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

給水口フィルターの掃除

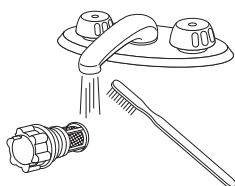
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1 給水元栓を閉じる

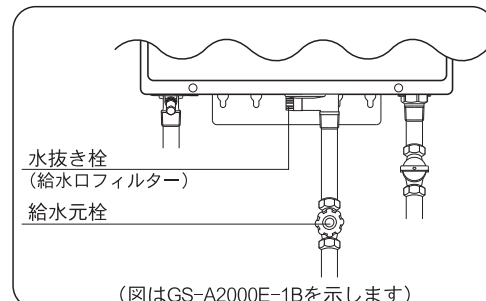
2 水抜き栓を外す

3 歯ブラシなどで洗う

4 水抜き栓を元に戻す



5 給水元栓を開ける



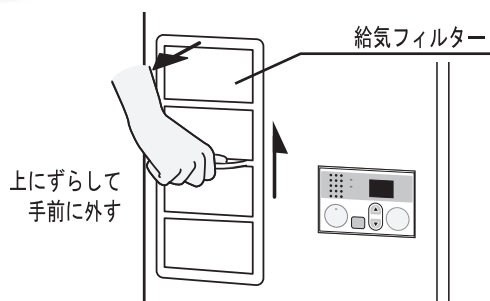
給気フィルターの掃除 GS-A2000E, A1600E シリーズにあります。

給気フィルターは月に一度は必ず掃除してください。給気フィルターにほこりやゴミが詰まると、本体操作部または浴室リモコンの表示画面にアラーム番号“051”が点滅し、“ピピピピピ・・・”と鳴ります。アラームブザーの停止は、**運転**スイッチを押してください。

給気フィルターを外す

1 本体操作部またはリモコンの**運転**スイッチを「切」にする

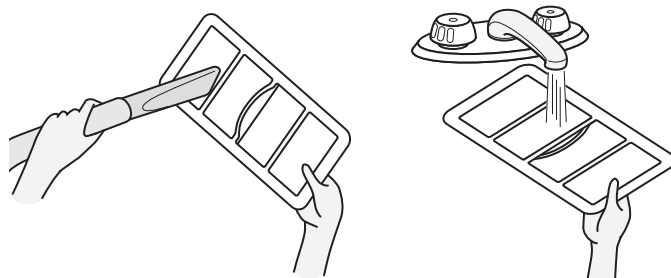
2 給気フィルターを上にはずらし、手前に引いて外す。



給気フィルターを掃除する

1 ほこりやゴミを掃除機で軽く吸い取るか、水洗いする

2 給気フィルターを元に戻す
濡れている場合は、よく乾かしてから、取り付ける。



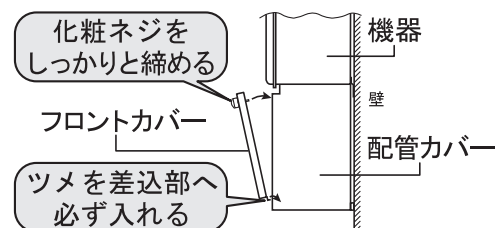
点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れ後は、ガス栓を開いて運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元に戻してください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



お願い

- 給気フィルターをベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
 - 給気フィルターを外したままでは使用できません。また、濡れたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因となります。
- ※給気フィルターのアミの破れ・変形・損傷した場合は、お買い上げの販売店でお求めください。

故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると機器が燃焼を止め水になります。お湯の出る量を増やしてください。
給湯栓を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。 ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。 リモコンの運転は「入」になっていますか。 お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか。 凍結していませんか。 停電していませんか。 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 お湯張り機能を使ってお湯張りした場合、お湯張り終了後に給湯栓を閉じ、お湯張りスイッチを押しましたか。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	給水元栓を全開にしてください。 給湯温度の設定は適切ですか。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	ガス栓を全開にしてください。 給湯温度の設定は適切ですか。
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンに優先が表示されていますか。
給湯栓から出るお湯の量が少ない	お湯を使用中他の場所でお湯を使用したり、お湯張り機能を使ってお湯張りをするとお湯の量が減る場合があります。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶解込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

故障かな？と思ったら

本体操作部/リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転ボタンを押しても「入」にならない 画面が表示しない	停電していませんか。 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
燃焼ランプが点灯しない	停電していませんか。 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。 凍結していませんか。 ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか。
60℃より上に給湯温度を変えられない	給湯温度はやけど防止のため、60℃から70℃に変更するには▲スイッチを2秒以上押す必要があります。
音声ガイドが出ない	音量の設定が7になっていませんか。設定を確認してください。
音が小さい	音量の設定は適切ですか。
音がこもる	スピーカー部分に湯（水）がかかっていますか。
アラーム番号が表示された	■リモコンにアラーム番号がでたときをご覧になり、必要な処置を行ってください。

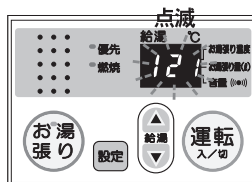
機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときは、排気ガス中の水蒸気が外気に触れて結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。
運転中に異常音がする	点検を依頼してください。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。
給湯栓を閉じると水抜き栓から一瞬水が漏れる	給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯（水）が出る場合があります。

故障かな？と思ったら

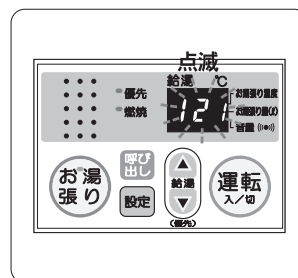
■リモコンにアラーム番号が出たとき

不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。
原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し自動的に運転を停止します。
アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

例：図のようにアラーム番号が
点滅してお知らせします。



本体操作部



浴室リモコン

お客さまで対処が可能なもの		
アラーム番号	原因	処置方法
01 ₁	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉じる。 運転スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
05 ₁	給気フィルター外れ	給気フィルターが正しく取り付けられていることを確認する。
	給気フィルター詰まり	給気フィルターを掃除する。
11 ₁ ※1	給湯側の点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。 運転スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
12 ₁ ※1	給湯側失火	※1 アラーム番号11 ₁ ・12 ₁ が表示されたときは、給湯栓を閉じることによりアラームが解除される場合があります。
C L	お湯張り終了後、給湯栓閉め忘れ	給湯栓を閉じて、お湯張りスイッチを押す。
以下の場合には、お買い上げの販売店、または弊社窓口までご連絡ください		
アラーム番号	原因	
10 ₁	燃焼に異常が生じたため、良好な燃焼を維持できなくなった 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください そのまま使用すると“991”となり、機器の使用ができなくなります	
13 ₁	燃焼に異常が生じたため 窓を開けて室内の換気をし、修理を依頼してください	
38 ₁	機器の燃焼累計時間が一定時間を超えた 機器はしばらく使用できますが、COセンサーが寿命のため、修理を依頼してください CO センサーが故障した 機器は使用できません 修理を依頼してください	
888	一般的な使用で10年相当使用したので、点検お知らせ機能がはたらいた 点検(有料)を依頼してください	
99 ₁	修理を依頼してください	
その他のアラーム		
03 ₁	31 ₁	39 ₁
		51 ₀
		51 ₁
		61 ₁
		70 ₁
		72 ₁
74 ₁	75 ₁	

◇処置方法を試してもなお、アラームが表示されるときやその他わからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口までお問い合わせください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.18～20)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)型式名:(例)GS-A2000E, ガスの種類:(例)13A
 - (3)機器の銘板をご覧ください。(→P.2)
 - (4)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (5)訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後7年(BL認定品は10年)です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1)ガス栓を閉じます。
 - (2)給水元栓を閉じます。
 - (3)機器の水抜きを行います。(→P.12)
 - (4)電源プラグを抜きます。

■仕様表

項 目			内 容				
品 名			GS-A2000E-1B GS-A2000E-1B(BL)		GS-A1600E-1B	GS-A2000F-1	GS-A1600F-1
型 式 名			GS-A2000E		GS-A1600E	GS-A2000F	GS-A1600F
外形寸法(mm)/質量(kg)			幅352×奥行180×高さ580/17			幅352×奥行230×高さ580/18	
種 類	給 湯 方 式		先止め式				
	設 置 方 式		屋内壁掛形				
点 火 方 式			AC100V 連続放電式(ダイレクト着火)				
水 圧	使 用 水 圧		100～500kPa (1.0～5.0kgf/cm ²)				
	最 低 作 動 水 圧		10kPa (0.1 kgf/cm ²)				
接 続	ガ ス		15A (R1/2) オネジ				
	給 水		15A (R1/2) オネジ				
	給 湯		15A (R1/2) オネジ				
電 気 関 係	電 源		AC100V (50/60Hz)				
	リ モ コ ン 側		24V 以下				
	消 費 電 力	待 機 時	3.9W (2.6W : CO センサ分を除く)				
		定 格	93W	72W	70W	54W	
		凍 結 予 防 時	106W			110W	
	電 源 コ ー ド		VCT (2心) 機外長1.5m				
安 全 装 置			空だき防止装置(水量センサ) 凍結予防ヒータ(ヒータ) 立ち消え安全装置(フレームロード) ファン回転検知装置(回転数検知方式) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 電流ヒューズ(過電流防止装置) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 不完全燃焼防止装置(CO センサ: GS-E タイプ) 漏電安全装置(漏電スイッチ) …GS-A2000E-1B(BL)のみ 燃焼監視装置(CO センサ: GS-F タイプ)				

■能力表

型式名	使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW [kcal/h]	出湯能力(最大値) (ℓ/min)		ガス接続
				水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
GS-A2000E	都市ガス	13A	42.4 {36,500}	20.0	12.5	15A (R1/2)
		12A	39.5 {34,000}	18.7	11.7	
	LP ガス		42.4 {3.03kg/h}	20.0	12.5	
GS-A1600E	都市ガス	13A	33.7 {29,000}	16.0	10.0	
		12A	31.4 {27,000}	14.9	9.3	
	LP ガス		33.7 {2.41kg/h}	16.0	10.0	
GS-A2000F	都市ガス	13A	41.9 {36,000}	20.0	12.5	
		12A	39.0 {33,500}	18.7	11.7	
	LP ガス		41.9 {2.99kg/h}	20.0	12.5	
GS-A1600F	都市ガス	13A	33.7 {29,000}	16.0	10.0	
		12A	31.4 {27,000}	14.9	9.3	
	LP ガス		33.7 {2.41kg/h}	16.0	10.0	

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/cm²}のときで、温度を高く設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

保証書

ガス給湯器

品名 GS-A2000E-1B GS-A2000E-1B(BL) GS-A2000F-1
GS-A1600E-1B GS-A1600F-1

お買い上げ日		年 月 日	保証対象区分 おおよび 保証期間	非B L 認定品	1 年	
お客様	ご住所			B L 認定品	熱交換器	3 年
	ご芳名	TEL 様			それ以外の部分	2 年
販売店	住 所 名	TEL	(印)			

お客様へ

- この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
 - 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1) 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2) 万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3) サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ、摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異・凍結、又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- (5) 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6) この保証書によっては保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ) TEL 0120-260-884(通話料金無料) 携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。 受付時間:年中無休 24 時間修理受付	点検受付センター(点検制度のお問い合わせ先) TEL 0120-323-884(通話料金無料) 受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	お客様相談室(商品や技術のお問い合わせ等) TEL 0545-32-1389 受付 平日 9:00 ~ 19:00 時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00
---	--	---

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。